

東北学院大学地域共生推進機構 平成 30 年度第 5 回 CSW 公開研究会

地域コーディネーターが走る！

— 県内取組事例に学ぶ地域力の魅力と可能性 —

日 時:平成 30 年 **11** 月 **30** 日(金)

10 時 50 分～15 時 15 分

場 所:東北学院大学ホーイ記念館 地階ホール及びロビー



地域生活を支える様々な仕組みは、社会・経済の進展に伴いその多様性を増しています。また、その多様性が故に行政だけではそのニーズに応えることは難しく、それぞれの地域に最適化した住民自らの手による仕組みづくりが求められています。こうした現状の中で、様々な資源を組み合わせ、地域課題に取り組んでいる事例が県内あちこちで見られます。

そこで、県内取り組み事例を基にして地域力の魅力とその可能性を知るために、これらの取り組みの中心的役割を果たしている方々が一堂に会し、その知恵を共有するとともに、広く啓発する機会にすることを目的に開催するものです。

以下のようなフィールドでご活躍の方、ぜひお越しください！

- ▶ 地域課題に取り組む各種団体の役員及び構成メンバー
- ▶ 国、県及び市町村の官民協働推進・コミュニティ・自治会活動担当者
- ▶ 市町村社会福祉協議会地域福祉推進担当者
- ▶ 地域活動に関わる LSA（生活支援員）、復興支援員
- ▶ 地域包括支援センター、生活支援コーディネーター
- ▶ 地域課題に取り組む各種団体を支援する団体（NPO、ボランティア団体等）
- ▶ 大学の地域貢献に関わる担当者



主 催：東北学院大学地域共生推進機構（COC）
共 催：社会福祉法人宮城県社会福祉協議会
後 援：宮城県・仙台市・社会福祉法人仙台市社会福祉協議会（予定）

文部科学省
地(知)の拠点

プログラム



10:50	開会
10:50~11:00	挨拶・趣旨説明
11:00~12:15	第一部 事例発表（口頭発表） ①滝ノ原地区社会福祉協議会（栗原市） 「定年後の『夢づくり』が小さな『村おこし』」 ②登米市社会福祉協議会（登米市） 「新道行政区の取り組みとコーディネーターの関わり」 ③村田町社会福祉協議会（村田町）『つながる』『つなげる』仲間づくり」 ④高瀬区地域支援ネットワーク（山元町）「人の絆が宝物！！」 ⑤女川町大原北区（女川町）「住民の協力があってこそ」 ⑥野いちごの会（南三陸町）「野いちご物語り」
12:15~13:15	昼休み
13:15~14:00	第二部 事例発表（ポスター発表） ⑦仙台市社会福祉協議会（宮城野区） 「復興公営住宅におけるコミュニティづくり支援」 ⑧せんだい・みやぎNPOセンター（多賀城市） 「住民サークルからの地域交流」（仮） ⑨根岸地区社会福祉協議会（栗原市）「互近助（ごきんじょ）の力」 ⑩南三陸町社会福祉協議会（南三陸町）「南三陸町は宝の山」 ＊詳細は別添発表団体一覧のとおり
14:00~14:15	休憩
14:15~15:00	第三部 意見交換「お知恵拝借／仲間づくり」
15:00~15:15	閉会挨拶・総評
15:15	閉会



お問い合わせ

東北学院大学地域共生推進機構
 （学長室地域共生推進課）
 〒980-8511
 宮城県仙台市青葉区土樋一丁目 3-1
 TEL. 022-264-6562
 FAX. 022-264-6522
 E-mail. kikou@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

アクセス



11月30日 CSW公開研究会「コーディネーターが走る」発表団体一覧

	市町村名	団体名	発表者	発表形式 (希望)	表 題	概 要
1	仙台市	仙台市社会福祉協議会	宮城野区事務所 主任 CSW 小川 琢也 (おがわ たくや)	ポスター	復興公営住宅におけるコミュニティづくり 支援	復興公営住宅における新たな地域づくり、被災者から担い手への移行としかけづくり等
2	多賀城市	せんだい・みやぎNPOセンター	多賀城市市民活動サポートセンター 副センター長 榎田 洋一 (くしだ よういち)	ポスター	住民サークルからの地域交流 (仮)	未定だが現状の表題に沿った内容
3	栗原市	滝ノ原地区社会福祉協議会	滝ノ原地区社会福祉協議会 会長 佐藤 博泰 (さとう ひろやす)	口 頭	定年後の「夢づくり」が小さな「村おこし」 そして、滝ノ原地区社協が発信する新たな 「コミュニティづくり」	・岩手・宮城内陸地震をきっかけに自治会・地区社協の設置をすすめたコミュニティづくり ・若い世代を巻き込んだ事業開催
4	栗原市	根岸地区社会福祉協議会	民生委員児童委員 菅原 昭一 (すがわら しょういち)	ポスター	互近助 (ごきんじょ) の力	地区防災の取組と、人が集まる機会を地域につくり住民同士の繋がりをつくる
5	登米市	登米市社会福祉協議会	第二層生活支援コーディネーター (中田・石越圏域担当) 鈴木 徳一 (すずき のりかず)	口 頭	新道 (しんどう) 行政区の取り組みとコー ディネーターの関わり	平成 28 年度より登米市からの事業受託を受け、生活支援体制整備を開始しています。事業の一環として、地域内の高齢者を中心とした社会参加機会の増進、支え合い体制づくりを強化・推進するため「モデル活動指定事業」を開始。指定団体の一つである「新道行政区」の取り組み成果と、関わりの中での課題・反省について報告します。
6	村田町	村田町社会福祉協議会	生活支援コーディネーター 根元 健一 (ねもと けんいち)	口 頭	「つながる」「つなげる」仲間づくり	長く福祉団体を担当させてもらったことが多くの人との出会いにつながっている。出合いがあれば付き合いも長い。付き合いも長くなれば気軽に話せる関係に。 見えてくる人とのつながり。「つながり」から人と人を「つなげる」ことでできてくる仲間づくり。
7	山元町	高瀬区地域支援ネットワーク	藤本 淑郎 (ふじもと よしろう)	口 頭	人の絆が宝物！！ ～あつがるサロン高瀬の取り組み～	地区は関係なく誰が参加しても良いという「あつがるサロン」の趣旨に賛同した高瀬区地域支援ネットワークが全面協力で開催運営してきた。開催から1年が過ぎ、「あつがるサロン高瀬」は、ますます広がりを見せている。例えば、近くの幼稚園の園児たちとのコラボ企画「スカットボール大会」や地域で活動している他の様々な団体、「ダンベル体操」や「食生活改善委員」等と上手く連携をとりながら、自分たちの活動を広げてきている。今後はこれからの「あつがるサロン高瀬」の運営を継続していく人材の発掘にも力を入れている途中である。
8	女川町	女川町大原北区	女川町大原北区 区長 鈴木 浩 (すずき ひろし)	口 頭	地域活動の取り組み ～住民の協力があってこそ～	震災後、女川町に一番最初に建設された災害公営住宅における住民活動の取り組みについての紹介
9	南三陸町	野いちごの会	野いちごの会 大友 あさみ (おおとも あさみ)	口 頭	野いちご物語り	20年もの間続いている「野いちごの会」その歴史を伝えたい。
10	南三陸町	南三陸町社会福祉協議会	生活支援コーディネーター 芳賀 裕子 (はが ゆうこ) 千葉 ユミ (ちば ゆみ)	ポスター	南三陸は宝の山	南三陸町内にある活動団体を紹介 コーディネーターは、その活動しているが、とても大切と伝えて います。